



田辺三菱製薬

田辺三菱製薬株式会社 (証券コード 4508)

Open Up the Future

医療の未来を切り拓く

2017年9月7日 (木)

広報部 I Rグループ グループマネジャー 加藤 千賀子

本日のご説明内容

- 田辺三菱製薬の概要
- 医薬品市場の現状
- 田辺三菱製薬の成長戦略
- 株主還元

田辺三菱製薬の概要

発足

2007年10月

(田辺製薬と三菱ウェルファーマが合併)

本社住所

大阪市中央区道修町3-2-10

代表取締役社長

三津家 正之

(みつか まさゆき)

資本金

500億円

(2016年度末現在)

連結従業員数

7,280人

(2016年度末現在)

連結売上収益

4,239億円

(2016年度)



三菱ケミカルホールディングスグループ



沿革

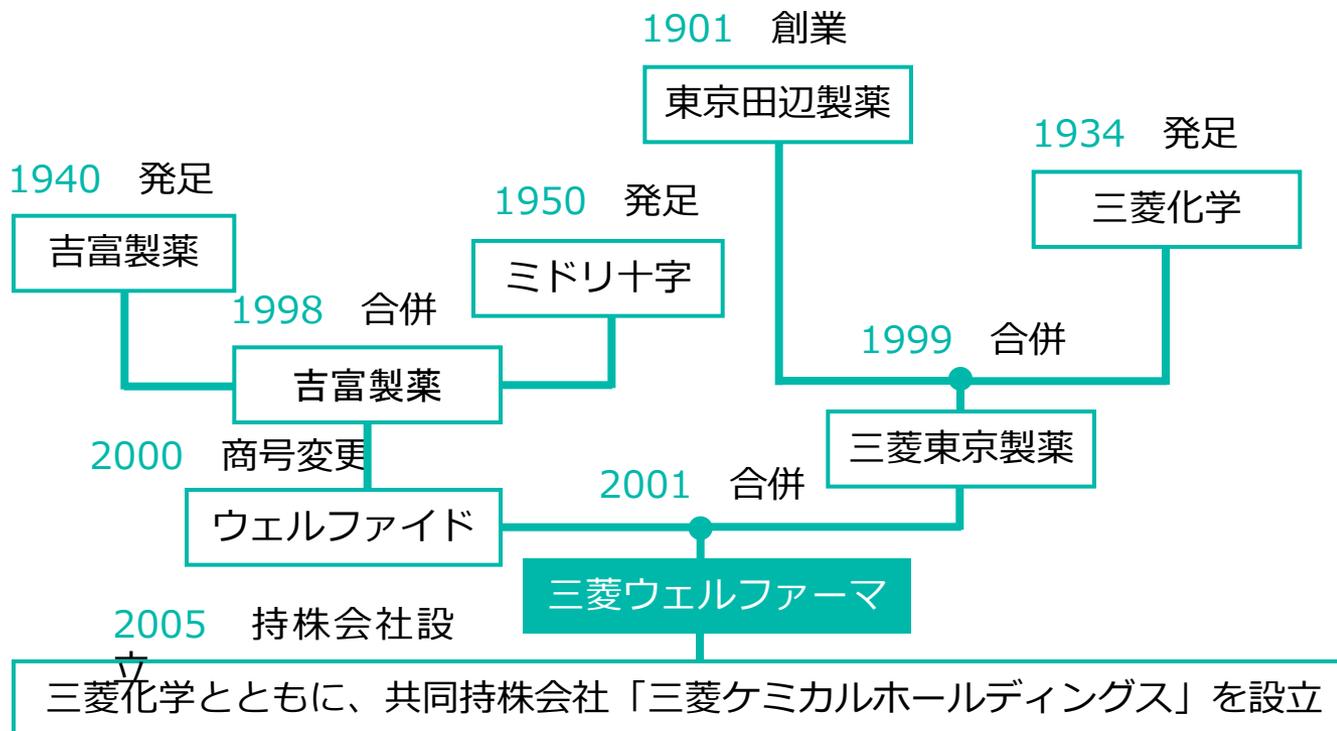


1678 創業 創業以来、**330**年を超える歴史

田辺製薬



創業当時の
軒下看板



2007 田辺製薬と三菱ウェルファーマが合併し、田辺三菱製薬が発足

2016年度連結業績（IFRS基準）



売上収益

4,239億円

コア営業利益

945億円

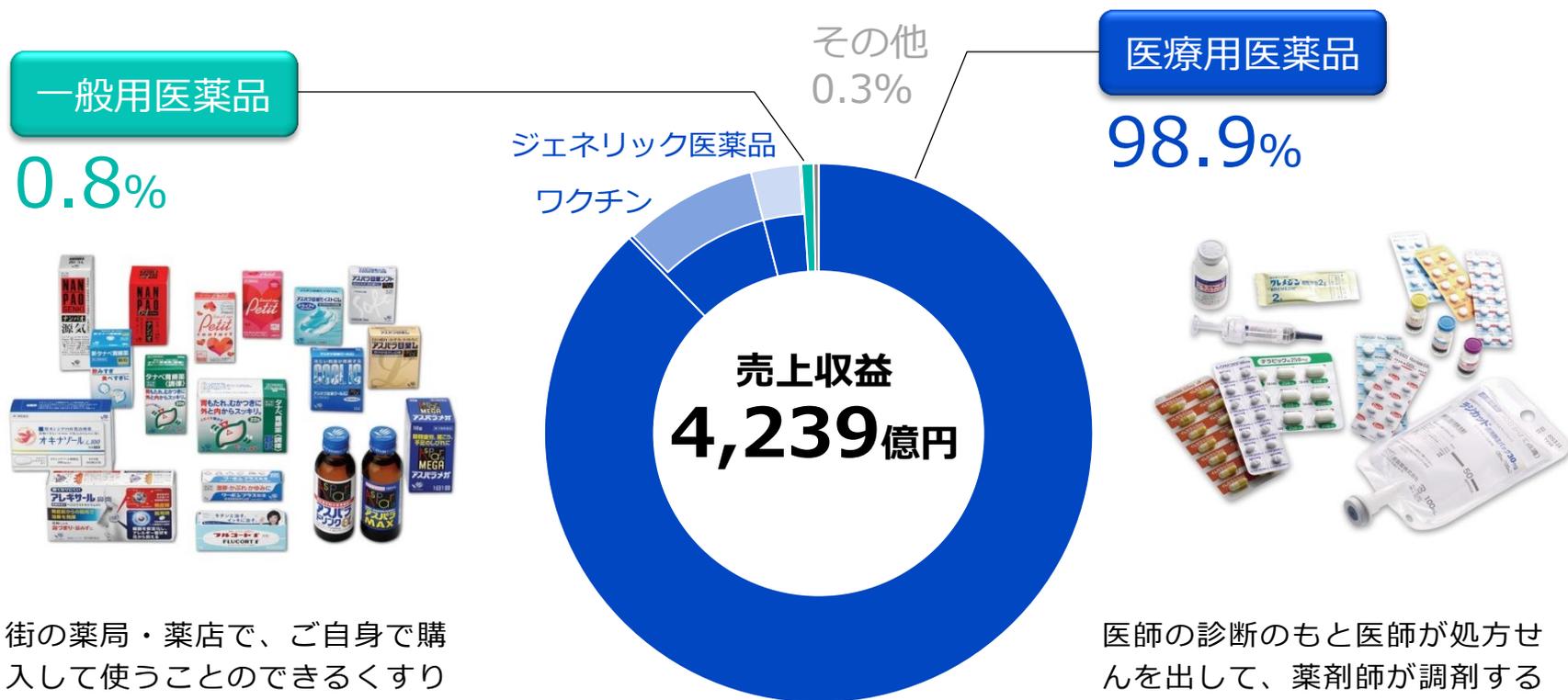
売上収益およびコア営業利益の推移



*2015年度までは日本基準の営業利益

連結売上収益内訳

約99%が医療用医薬品による売上収益



多種多様な
製品群
2016年度売上収益

レミケード

668億円

<薬効>
関節リウマチ
などの治療



シンポニー

249億円

<薬効>
関節リウマチの
治療



タリオン

189億円

<薬効>
アレルギー性
鼻炎などの治
療



テネリア

165億円

<薬効>
2型糖尿病の
治療



セレジスト

123億円

<薬効>
脊髄小脳変性症
の治療



メインテート

118億円

<薬効>
高血圧症、
狭心症などの
治療



レクサプロ

112億円

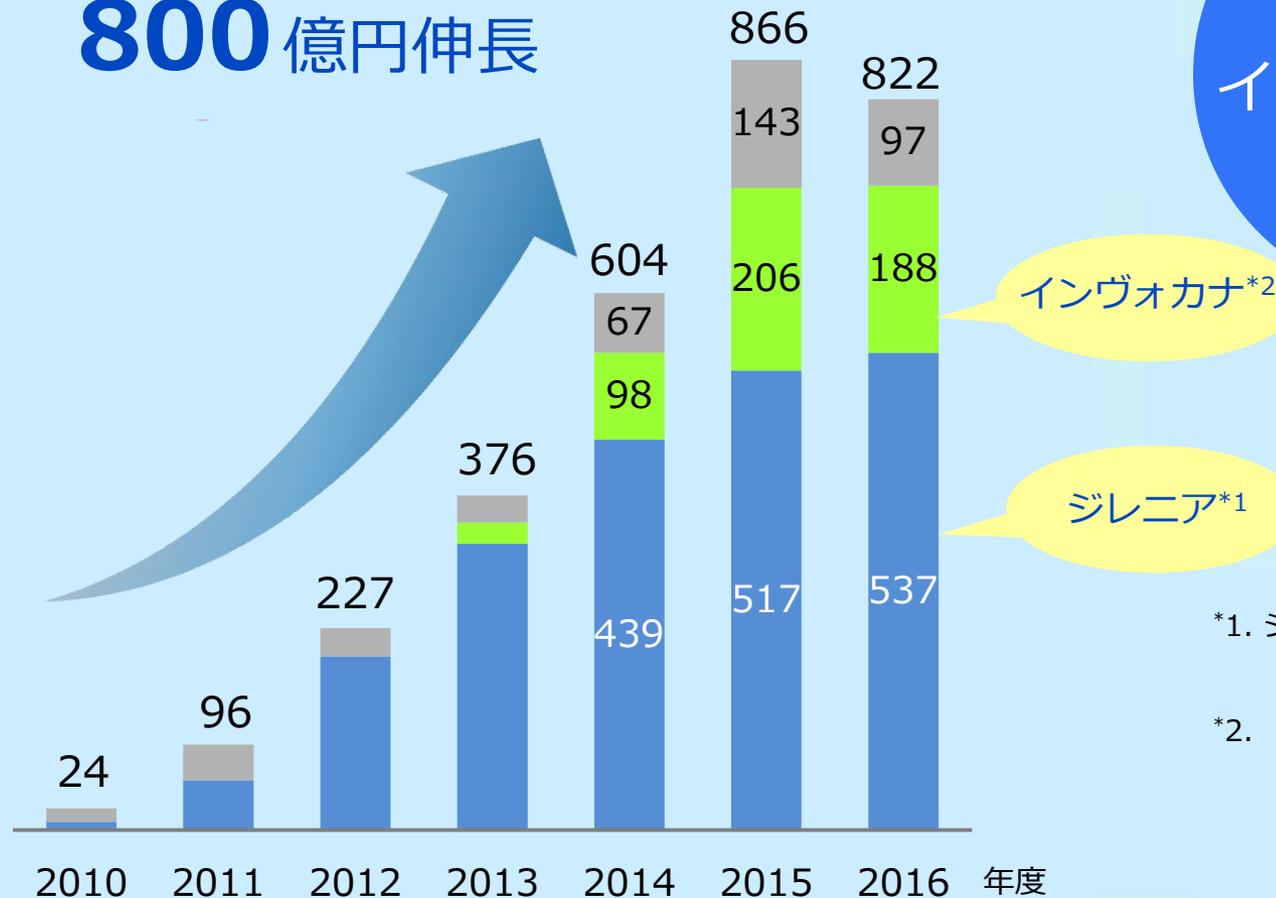
<薬効>
うつ病などの
治療



ランニングロイヤリティ (RR) / マイルストーン (MS) 収入

単位：億円（2014年度まで日本基準、2015年度以降IFRS基準）

800 億円伸長



ジレニアと
インヴォカナが
大型化

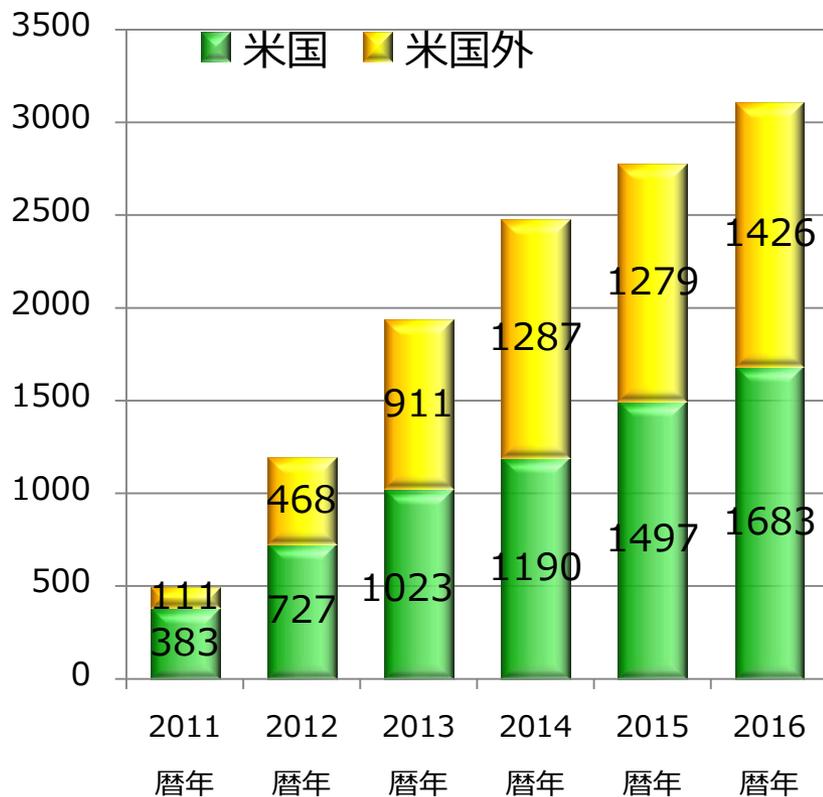
- *1. ジレニア（欧米）：
多発性硬化症治療薬
（日本販売名：イムセラ）
- *2. インヴォカナ（欧米）：
2型糖尿病治療薬
（日本販売名：カナグル）

田辺三菱製薬が創製した**世界初の経口**多発性硬化症治療薬

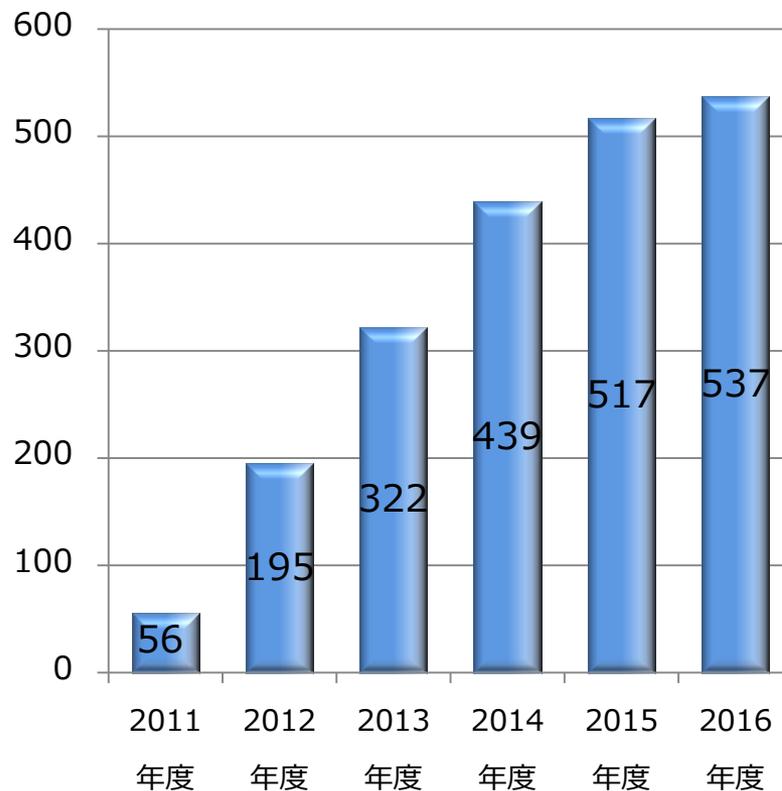
1997年にノバルティス（スイス）に導出し、**2010**年に米国で発売

2019年に米国で物質特許が満了

(百万ドル) **ノバルティスの売上**



(億円) **当社ロイヤリティ収入**

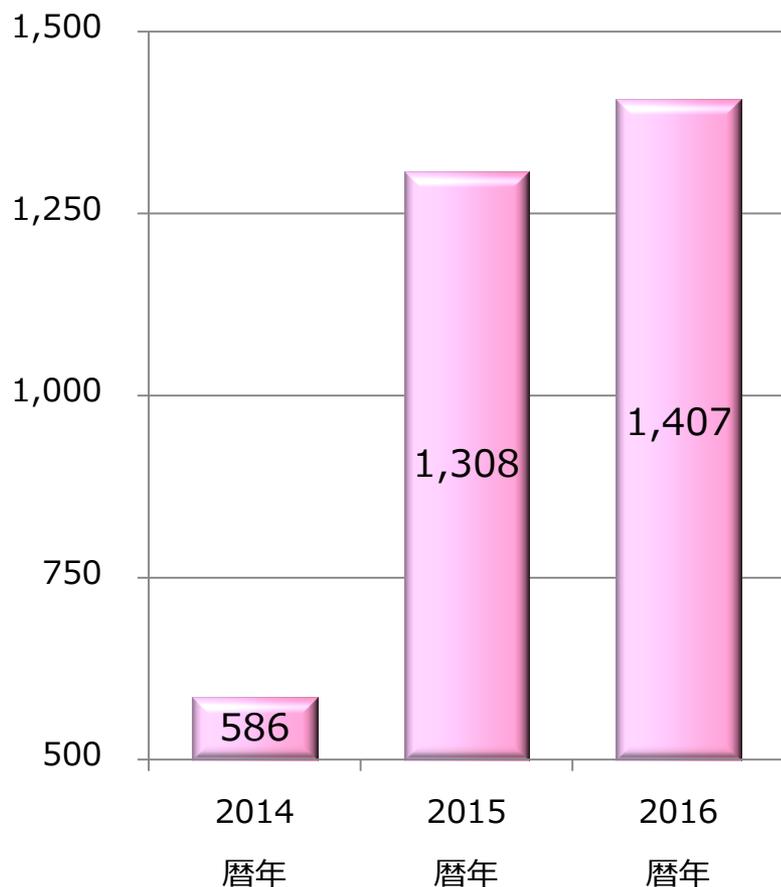


インヴォカナ・インヴォカメット

田辺三菱製薬が創製した**世界初**の経口SGLT阻害物質(Ⅱ型糖尿病治療薬)
米国、欧州、オーストラリアなど世界65か国で承認取得

(百万ドル)

J&Jの売上



(億円)

当社ロイヤリティ収入



医薬品市場の現状

世界の製薬企業ランキング



2016年度 医薬品売上高世界トップ50に、国内製薬企業10社がランクイン

(億ドル)

順位	企業名 (国)	医薬品売上高	研究開発費
1	ファイザー (米国)	482	79
2	ノバルティス (スイス)	427	85
3	ロシュ (スイス)	416	103
4	メルク (米国)	351	72
5	サノフィ (フランス)	347	57
6	ジョンソン&ジョンソン (米国)	335	70
7	ギリアド・サイエンシズ (米国)	304	51
8	グラクソ・スミスクライン (英国)	286	39
9	アッヴィ (米国)	256	44
10	アストラゼネカ (英国)	230	59
11	アムジェン (米国)	230	38
12	ブリストル・マイヤーズ スクイブ (米国)	194	49
13	テバ製薬工業 (イスラエル)	193	21
14	バイエル (ドイツ)	182	31
15	イーライ・リリー (米国)	181	52

(億ドル)

順位	企業名 (国)	医薬品売上高	研究開発費
16	ノボ・ノルディスク (デンマーク)	166	22
17	武田薬品工業	144	29
18	ベーリンガー・インゲルハイム (ドイツ)	142	34
19	アラガン (アイルランド)	132	26
20	アステラス製薬	121	19

世界トップ50に入る日本企業

25	第一三共	82	20
26	大塚ホールディングス	69	16
31	エーザイ	47	13
35	中外製薬	45	8
39	田辺三菱製薬	39	6
42	大日本住友製薬	34	7
45	塩野義製薬	29	5
48	協和発酵キリン	24	5

世界の医療用医薬品売上ランキング

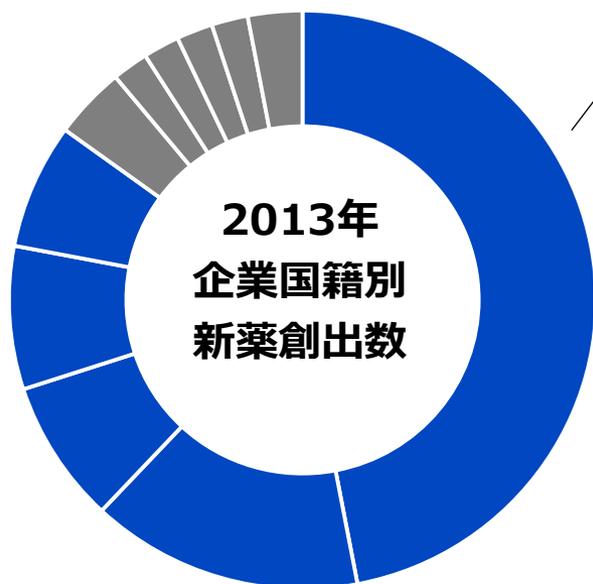
1 兆円を超える売上に達する医療用医薬品も

	製品名	薬効等	販売企業	2016年
1	ヒュミラ	関節リウマチ/乾癬	アッヴィ/エーザイ	165億ドル
2	エンブレル	関節リウマチ他	アムジェン/ファイザー/武田	92億ドル
3	ハーボニー	慢性C型肝炎	ギリアド・サイエンシズ	91億ドル
4	レミケード	関節リウマチ/クローン病他	J&J/メルク/田辺三菱	88億ドル
5	リツキサン	非ホジキンリンパ腫	ロシュ	87億ドル
6	レブリミド/レブラミド	多発性骨髄腫	セルジーン	70億ドル
7	アバスチン	転移性結腸がん	ロシュ	69億ドル
8	ハーセプチン	乳がん	ロシュ	69億ドル
9	ジャヌビア/ジャヌメット	2型糖尿病/DPP-4阻害剤	メルク/小野薬品/アルミラル	64億ドル
10	ランタス	糖尿病/インスリンアナログ	サノフィ	63億ドル
25	ジレニア/イムセラ	多発性硬化症（経口）	田辺三菱/ノバルティス	36億ドル

新薬の創出国

医薬品売上高上位100品目のうち、**85品目**を上位**5カ国**が創出

日本は**世界第3位**の新薬創出国となっている



上位5カ国

85品目

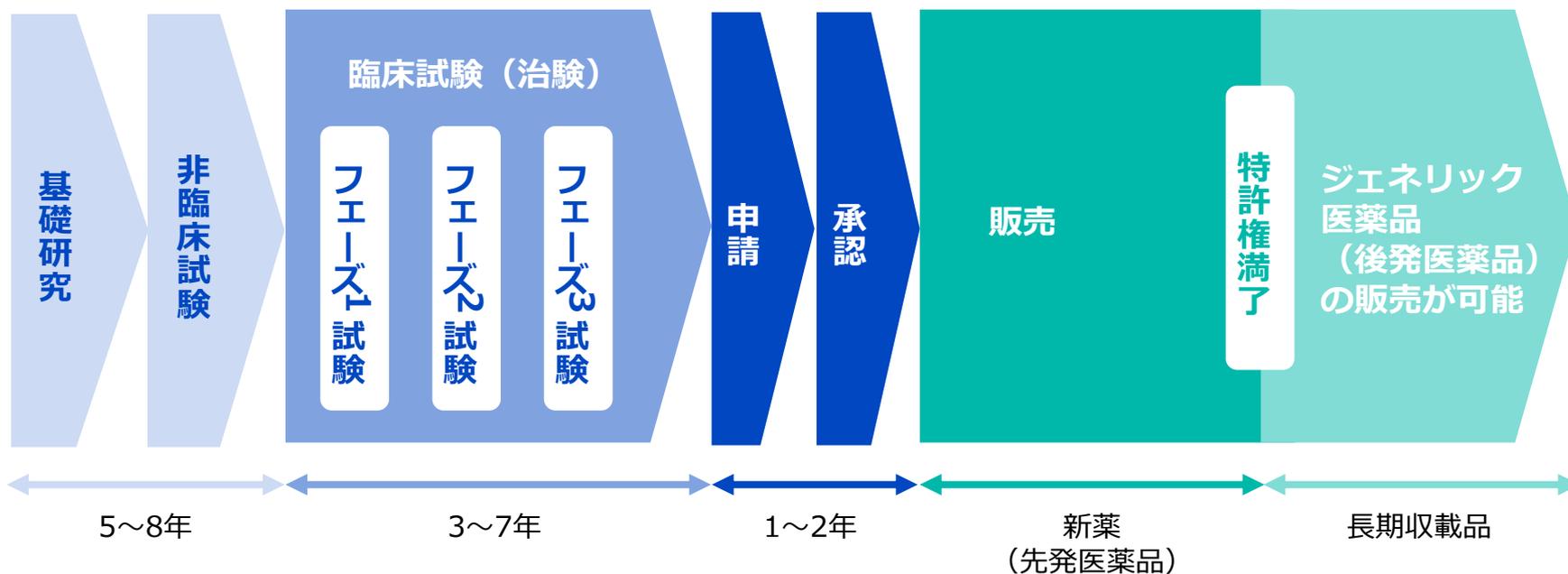
企業国籍	新薬創出数
アメリカ	47
スイス	15
日本	8
イギリス	8
ドイツ	7
デンマーク	4
フランス	2
スウェーデン	2
ベルギー	2
イスラエル	2
その他	3

研究開発の成功確度

研究開発期間は**9~17**年の長期に及ぶ

医薬品となる成功確率は**1/30,000**以下*

*新薬の候補として研究を始めた化合物が販売まで至る確率



田辺三菱製薬の成長戦略

Open Up the Future

医療の未来を切り拓く

医薬品産業を取り巻く環境が急激に変化する中、我々は自ら道を切り拓き、「独自の価値を一番乗りでお届けする、スピード感のある企業」への変革を成し遂げます。

Open Up the Future — 医療の未来を切り拓く

このキーコンセプトのもと、田辺三菱製薬は医療の未来を切り拓き、新たな医薬品の創製を通じて、世界の人々の健康に貢献します。

中期経営計画16-20 数値計画 (IFRS基準)

	2016年度実績	2017年度予想	2020年度目標
売上収益	4,239 億円	4,410 億円	5,000 億円
コア営業利益*	945 億円	900 億円	1,000 億円
親会社所有者帰属 当期利益	712 億円	715 億円	700 億円
研究開発費	647 億円	735 億円	800 億円
海外売上比率	24 %	26 %	40 %

*. IFRSにおける営業利益から非経常項目(構造改革費用等)を控除した利益

未来を切り拓く「4つの挑戦」

1 パイプライン価値最大化

- 後期開発品目標
10品目創製(導入品含む)
- 研究開発投資
4,000億円

投資

3 米国事業展開

- 米国売上収益目標
800億円 (2020年度)
- 米国戦略投資
2,000億円以上

2 育薬・営業強化

- 国内売上収益目標
3,000億円 (2020年度)
新薬および重点品売上比率75%
- 重点疾患領域
自己免疫、糖尿病・腎、中枢神経系、ワクチン

収益

4 業務生産性改革

- 売上原価・販管費削減目標
200億円 (2020年度：対15年度比較)
- 従業員数
国内連結5,000人体制*
*2017年3月末現在：5,360人

3 米国事業展開のロードマップ

米国売上収益（2020年度）
800億円

M&A or
獲得品目
(神経疾患)

植物由来インフル
ンザワクチン
(メディカゴ社
VLPワクチン)

MT-8554

M&A or
獲得品目
(自己免疫疾患)

MT-1303

MT-7117



NeuroDerm

第2ステップ：
米国事業の拡大

第3ステップ：
米国事業の
継続成長

RadicavaTM
(edaravone) *IV infusion*
30mg/100mL

第1ステップ：
米国事業の第一歩

米国戦略投資
2,000億円以上

3 米国事業展開 ～ラジカヴァ 米国で承認～

ALS治療薬「ラジカヴァ」（日本製品名「ラジカット」）
米国で22年ぶりの新薬



「ラジカヴァの承認は、
新しいALS治療の第一歩となると
期待しています」

(Barbara Newhouse 氏
President and CEO, ALS Association)

筋萎縮性側索硬化症(ALS)

- ▶ 運動ニューロンが変性消失し、筋萎縮と筋力低下を引き起こす神経難病
- ▶ 進行性の経過をたどり、多くは発症後およそ2-5年*1で呼吸不全により死に至る
- ▶ 米国でも毎年約5,000-6,000人*2の患者さんがALSと診断されている

*1. 出所：難病情報センターホームページより

*2. 出所：ALS Associationホームページより

3 米国事業展開 ～ニューロダーム社買収概要～

名称：ニューロダーム社

設立／所在地：2003年設立／イスラエル国レホヴォト

買収金額の総額：1,241億円

買収完了（予定）：2017年10月

事業領域：中枢神経系治療薬（パーキンソン病等）の研究開発。

品目名	一般名	想定適応症	ステージ	上市時期
ND0612	レボドパ／カルビドパ 持続皮下注投与ポンプ／パッチ製剤	パーキンソン病 (中等度 / 重症)	P3	FY2019

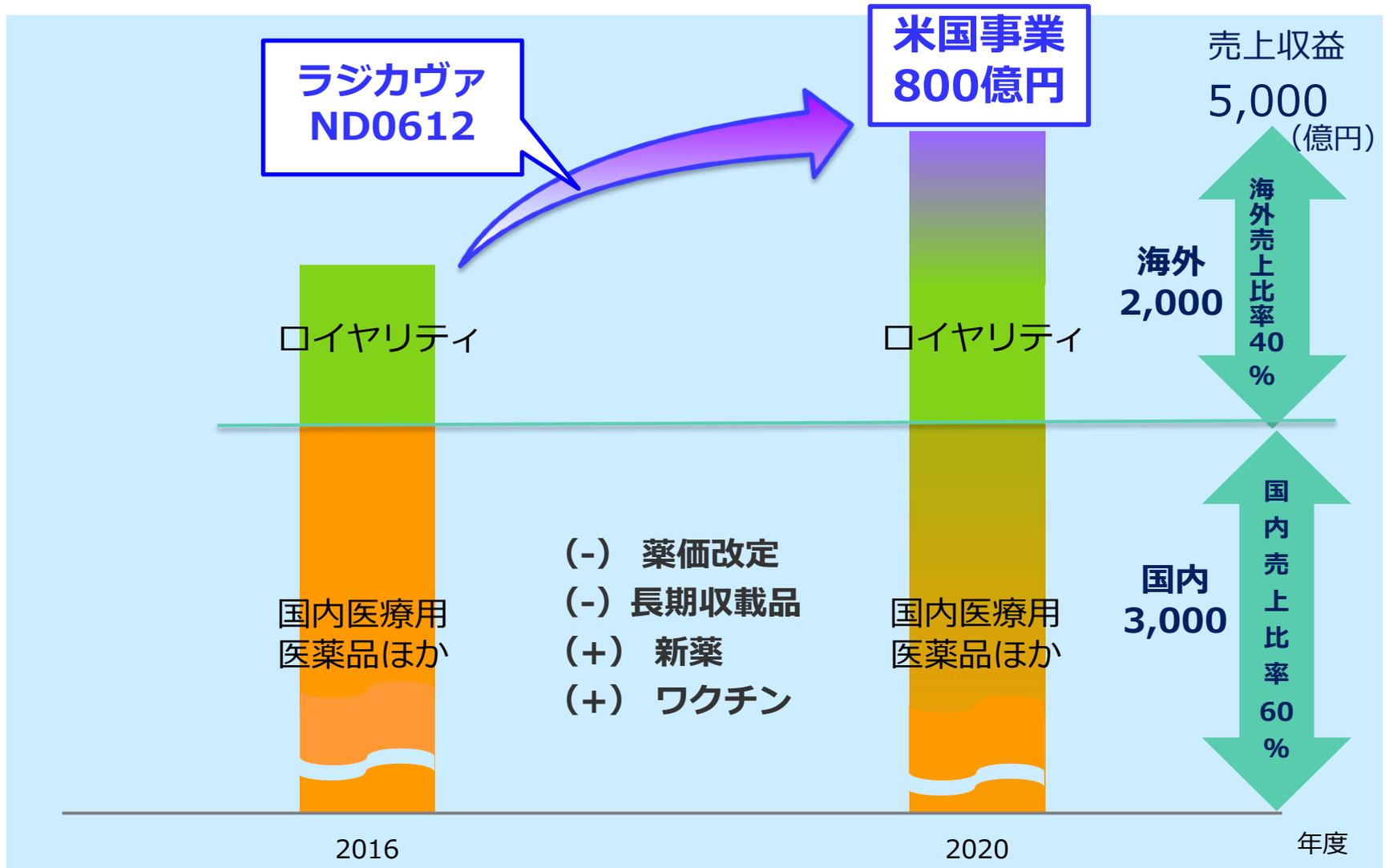
ND0612ポンプ製剤



ND0612パッチ製剤（デバイス開発中）



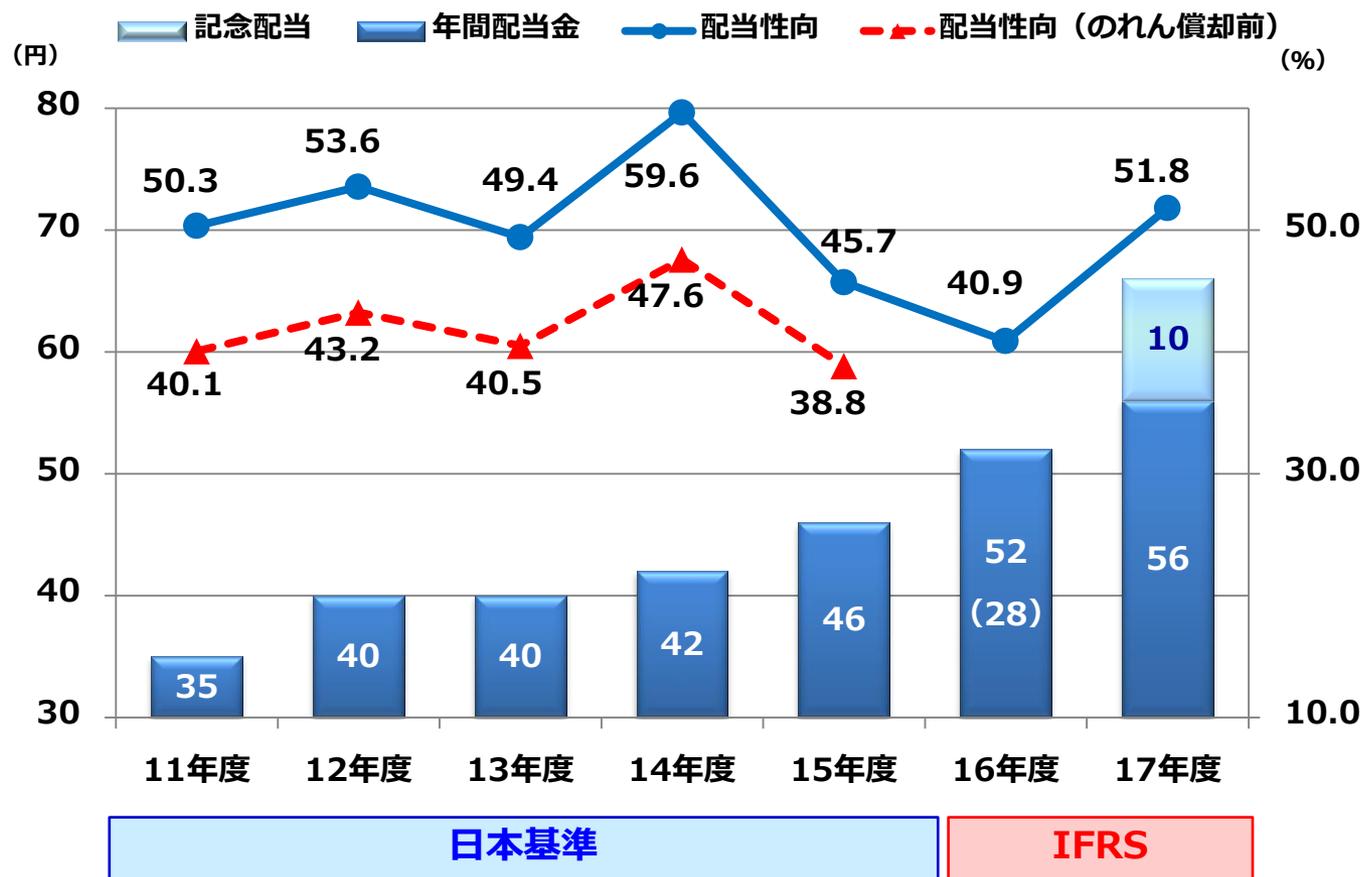
中期経営計画16-20達成に向けて



株主還元

配当方針

- 持続的成長の実現に向けた戦略的投資・研究開発投資を積極的に実施することにより企業価値の増大を図るとともに、株主還元についても安定的かつ継続的に充実させる。
- 「中期経営計画16-20」期間は、連結配当性向50%（IFRS）を目途に、中長期的な利益成長に基づいた配当を行う。



発行済株式総数

561,417,916株

(発行可能株式総数：2,000,000,000株)

一単元の株式数

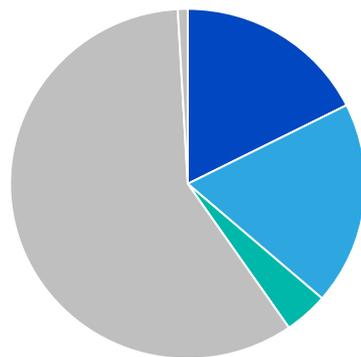
100株

株主数

14,661名

(2017年3月末現在)

所有者別株式分布状況



金融機関	17.6%
外国法人等	18.8%
個人・その他*	4.0%
その他の法人	58.8%
金融商品取引業者	0.9%

* 個人・その他には自己株式(2017年3月末429千株)を含む

主要株主 (持株比率)

三菱ケミカルホールディングス	56.3%
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	4.6%
日本生命保険	2.2%
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	2.0%
三菱東京UFJ銀行	1.3%
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	1.1%
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口9)	1.0%
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口5)	0.8%
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	0.7%
ニプロ	0.7%

株価推移 (直近1年間)

JPX日経400採用銘柄



2017年8月29日現在
株価 **2,628円**

時価総額 **14,754億円**

配当利回り **2.51%**

〈参考〉.....

東証1部上場企業平均
(2017年7月末現在)

時価総額 2,949億円

配当利回り 1.91%

(加重平均)

出所：東京証券取引所

田辺三菱製薬のシンボルマークの形  は、世界の人々の健康をやさしく包み込む「手のひら」です。この「手のひら」をもつオリジナルキャラクター「たなみん」が昨年6月に誕生しました。「たなみん」は大きな青い手とフワフワの白い毛で、出会った人をギュ〜と抱きしめて幸せにします。



たなみん

「たなみん」の活動を通じて、田辺三菱製薬は次世代教育と本社近隣コミュニティとの共生に努めています。

補足資料



1 パイプライン価値最大化

～後期開発品10品目候補～



後期開発10品目候補		Phase1	Phase2 / POC試験	後期開発試験
2016年度 成果		3品目	2品目	1品目
2017年度 予定		1品目	2品目	5品目
自己免疫 疾患領域	MT-1303	日：炎症・自己免疫	欧：MS, PS, CD 日：CD	
	MT-5547			
	MT-7117	欧：皮膚科用剤 等		
	自社新規IPシフト			
糖尿病・腎 疾患領域	MT-6548		日：腎性貧血	
	MT-3995		日：NASH 日、欧：糖尿病性腎症	
中枢神経系 疾患領域	MT-5199	日：遅発性ジスキネジア		
	MT-8554	欧：神経系用剤 等		
ワクチン その他	MT-2355			日：4混+Hib
	植物由来VLPワクチン		米、加：季節性インフル	
	MT-4129	欧：循環器官用剤 等		

2016年度の成果

2017年度の予定

注意事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性がございますので、ご了承ください。

お問い合わせ先

広報部IRグループ

TEL : 06-6205-5110 FAX : 06-6205-5105